

平成31年度 佐賀県立有田工業高等学校(定時制) 学校評価計画

1 学校教育目標 平和で民主的な社会の形成者として、個性豊かで人間愛に満ち、国際的視野に立って社会に貢献できる、心身ともに健全な人間を育成する。 ・地域を愛し、地域から愛される有工生を育て、地域に根ざした学校として更なる発展を目指す。 ・学力の向上を目指し、部活動にも取り組む、光り輝く有工生を育てる。 ・高い志を持ち続ける、チャレンジ精神豊かな有工生を育てる。	2 本年度の重点目標 ①挨拶、服装、マナー指導の徹底と思いやりの心の醸成 ②進路保障に繋ぐ意欲的な学力向上と資格取得 ③志をもった部活動と生徒会活動の展開 ④保護者、地域、産業界との連携強化と特色ある教育の推進を図るとともに、業務改善を進める ⑤5S運動(整理、整頓、清潔、清掃、躰)とUDの推進
--	--

3 目標・評価

①挨拶、服装、マナー指導の徹底と思いやりの心の醸成

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○生徒指導	基本的生活習慣の確立	・挨拶・服装・マナー指導の徹底	・定期的な登校指導を実施し、登校してくる生徒への声掛けや挨拶を積極的に行う。 ・年間6回の服装・頭髪検査の実施と、女子の化粧、正しい身なりの指導を全職員と連携して行う。 ・携帯電話のマナーを守るように指導する。
		基本的生活習慣の確立	・交通安全教育と交通マナーの遵守	・年間の登校指導を通して、原付・自動車・自転車通学者に対してマナーの徹底を呼び掛ける。 ・関係機関と連携し、学校周辺のパトロール依頼や交通安全講話を実施する。
	○保健厚生	給食指導の充実	・給食の約束事を守らせる。	・職員給食当番を設定し、共通理解のもと指導を行う。
	●健康・体づくり	健康保持・増進	・健康に関する意識を高めさせる。	・保健・健康に関する講演会等を実施する。 ・保健だより等、保健に関する情報を生徒・保護者に提供する。 ・健康診断の結果を生徒・保護者に知らせ、健康への意識向上を図る。
		望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	・食に関する意識を高めさせる。	・食に関する講話等を実施し、関心を高める。 ・喫食率の低い生徒について、個別の食育指導を行う。 ・ワークショップを実施し、食に関する体験をする。
	●いじめ問題への対応	いじめのない学校づくり	・年3回のアンケートを実施 ・日々の生活やアンケート記載において「からかい・いじり等」の内容にも早期に対応し、情報共有し多数の目で見守る	・いじめ予防教育と早期発見、早期対応の取り組みを心掛ける。 ・教育相談と連携し、悩み等を相談しやすい環境づくりをする。
○人権・同和教育	人権・同和教育の推進	・人権・同和教育に関する職員の共通理解をはかる。	・外部から講演者を招き、人権問題への啓発活動に努める。	

②進路保障に繋ぐ意欲的な学力向上と資格取得

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力向上	学力保障	・出席率90%の達成 ・単位履修率100%、修得率100%を目指す。	・職員に向けて、屋礼連絡時に全日の出席状況を確認する。欠席の多い生徒については、本人面談を行い、また保護者との連絡を取り家庭との連絡を図る。 ・毎週欠課時数一覧を担任に確認してもらう。前期の欠点保持者に対する指導を例年より早期に実施し、保護者の協力も得ながら生徒の指導に当たる。
教育活動	○資格取得 ○就業指導や進路指導の充実	資格取得指導	・受検者の延べ人数を生徒在籍数の52%、合格率が全受検者数の50%を目指す。	・年間の資格検定の実施日程を年度当初に生徒へ告知し、受験を呼びかける。また、合格者による単位取得についてや、ジュニアマイスター顕彰制度についても周知する。合格に向けた学習時間確保のための十分な補習日程を設定する。
		就業保障	・就業希望者の就業率80%を目指す。	・求人情報を積極的に収集し、未就労生徒への紹介・斡旋をする。生徒の就業状況や就業希望を把握し就業を促す。事業所と連携をとりながら仕事への定着を図る。
		進路保障	・就職・進学率100%を目指す。	・進路面談、面接指導の充実。全日進路指導部、ハローワークと連絡を密にし、進路情報収集を確実に行う。保護者・本人の進路希望を把握し、適切な選択ができるよう1年次から計画的に指導を行う。

③志をもった部活動と生徒会活動の展開

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○生徒会 (部活動、文化祭等の行事の推進) ●心の教育 ●志を高める教育	文化祭等の行事	・体育館行事のスマート化及び共同作業への積極的参加	・体育館行事の時間配分や共同作業の内容を具体的に検討する
		ボランティア活動	・地域奉仕活動への取り組み強化	・年2回の地域奉仕活動を行うことにより、奉仕の心を育成し、地域への感謝の心を育てる
		目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	・高い志を持った部活動への取り組み ・体育部:定通野球、定通総体への積極的取組及び練習の効率化、文化部:各種公募展への出品	・全国大会出場および各種公募展への出品を目標とすることで高い志を持ち、その達成に向けたチャレンジ精神、努力の大切さを指導する。

④保護者、地域、産業界との連携強化と特色ある教育の推進を図るとともに、業務改善を進める

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
運営 営校	○開かれた学校づくり	保護者との連携	・PTA総会への出席率45%を目指す。	・PTA総会の事前通知の徹底と、案内文書が確実に保護者へ渡るように指導を行う。 ・総会内容の充実を図る。(給食試食・授業参観・クラス懇談会・個人面談等)
		企業との連携	・事業所訪問により、企業との連携を図る。	・事業所からの要望、意見を把握し、生徒の指導に資する。
	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	業務の平準化と会議の効率化	・業務改善に関する意見集約を年に2回(前期・後期)行い具体的な改善計画を策定する。 ・会議時間の前年比10%減を目指す。	・業務改善に関する意見集約し、業務の平準化を行い、職員の専門性を向上させる時間と教材等の準備に充てる時間を捻出する。 ・ICT活用を推進し、事務業務の簡素化、会議の効率化を図り、職員が生徒と向き合える時間を充実させる。 ・定時退勤、年次休暇取得を促進し、必要に応じて休養または医療機関受診ができるような職場内の相互関係を築く。

⑤5S運動(整理、整頓、清潔、清掃、躰)とUDの推進

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
活教 動育	○保健厚生	学校環境の整備・美化	・学校環境の整備・美化への意識を高める。	・月に一回を目安に清掃活動を行う。また、年度末に大掃除を実施する。 ・安全点検を毎月実施する。

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目